



月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.11.29 No.4508

12月27日 12月ダイヤ改阻止へ！ 総決起集会開催！



「一二月ダイヤ改」組織破壊攻撃粉砕！JR総連解体！組織拡大！恒常的ストライキ体制堅持！安全運転行動貫徹！
一一・二七動労千葉総決起集会は千葉市文化センターにおいて二二〇名の結集の下、開催された。

はじめに、「JR無法地帯」(東労組はこうして国労組合員を脱退させた)と題する、国労高崎地本作成のビデオを上映、参加者一同、JR当局と革マルの結託体制に怒りを新たに総決起集会は開催された。

10年間の蓄積をにかけて

本部を代表して中野委員長は「ダイヤ改正は同時に、会社がJR総連の革マルと結託して国労や動労千葉に対する組織破壊

を企むということがあるので肝にすえて闘いを展開しなければならぬ。数日後に一二月ダイヤ改正が行われる、さらに、三月二日にもう一回、ダイヤ改正があります。貨物は三月二日が正念場になるでしょう、一月と二月のダイヤ改闘争を一体のものとして、九六年から九七年へ、一〇年間の闘いの蓄積をかけて闘おう」と、発言。

来賓として、勝浦市議の水野さんは、「昨年の一二月勝浦運転区廃止反対闘争を全軍一丸となつて闘いました。今日は、久しぶりに元気のいい皆さんに会えて心づくよく思っています。臥薪嘗胆、一〇年間闘ってきたことが問われるときです。議員団もその一翼を担います」とあいさつ、つづいて交渉部よりこの間の一二月ダイヤ改交渉の経過報告を、貨物協議会から「新フレイト二一計画」・貨物六千人合理化との闘いの決意をうけ、田中書記長が本集会の基調報告を行った。

決戦勝利の四つの方針

「さつきまで一二月ダイヤ改についての団体交渉をやってきました。これまで延々と交渉をやつてきて、今日の段階でなにが結論がついたかという、極端な言い方をすれば二つです。それは、労基法を無視して業務を作ったということ認めたと



▲スクラムを組んで組合歌を合唱

R総連解体・組織拡大、結託体制を突き崩すために、動労千葉の組織をあげて闘いぬく」と、決戦勝利にむけた四つの方針を提起した。

力強い決意表明

各支部決意表明では、旅客支部を代表して千葉運転区支部の岩瀬副支部長は、「合理化を目的とした度重なるダイヤ改悪に対し、ハラの底から怒りをあらわにし、闘う決意をのべたいと思います。安全を無視したスピードアップのダイヤ改悪は許せない。運転保安確立をめざし、強制配転者の原職復帰をかちとるために皆さん、共に闘いましょう」とつづいて、貨物支部を代表して新小岩支部の君塚支部長は「労働者に犠牲を転嫁する新フレイト二一計画・六千人大合理化は断じて許すことは出来ません。来年三月に予定されているダイヤ改では、基地の統廃合を含めた大合理化が予想されます、新小岩支部は貨物の最先頭で闘います」という力強い決意表明をうけて、最後に、関青年部長の組合歌合唱、布施副委員長長の団結カンパローをもつて集会は大成功のうちに終了した。

お詫び

11/28付の号数は、4508→4507に訂正をお願いします。